フィットテスト研究会産業部会　自由集会

第36回日本産業衛生学会全国協議会

日　時：2026年11月6日(金)　17:20　-　18:10
会　場：第10会場［自由集会会場5］
（倉敷市民会館　3F　第4会議室）

テーマ：　：フィットテストから始まる防護の旅路

― 呼吸用保護具を「使う」から「守れる」へ ―

呼吸用保護具は、産業現場における吸入性リスクから作業者の皆様を守るための基本的かつ重要な対策です。しかし、マスクを着用しているだけでは、十分な防護ができているとは言えません。どれほどフィルタ性能が高い製品であっても、顔面とのすき間から空気漏れが生じれば、その防護効果は大きく低下してしまいます。呼吸用保護具「使っている」状態から、実際に現場で「守られている」状態へと繋げていく出発点となるのがフィットテストです。

フィットテストは、単に合格・不合格を判定する手続きではありません。着用者自身が「漏れ」の存在に気づき、適切な装着方法を学ぶとともに、現場全体の防護の質を高めていくための貴重な教育機会でもあります。

そのため、フィットテストインストラクターには単なる測定技術だけでなく、科学的根拠をわかりやすく伝え、現場の実情に応じた改善を支援する役割が求められます。

本講演は、聖路加大学大学院大西先生による「フィットテストから始まる防護の旅路 ー 呼吸用保護具を「使う」から「守れる」へ ー」をテーマとして、マスクや呼吸用保護具の防護性能を左右する要因を丁寧に整理し、フィットテストの意義を「評価」「教育」「現場改善」という3つの視点から紐解きます。

産業現場にフィットテストをしっかりと根づかせるための実践的な課題と、今後の可能性について共に考えてみませんか？

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

KANOMAX The Ultimate Measurements
クリーン、ヘルス、セーフティで社会に 興研株式会社
シゲマツ
SIBATA
3M Science. Applied to Life.
トランステック